

# 大和川流域における雨水貯留浸透施設等 の整備状況

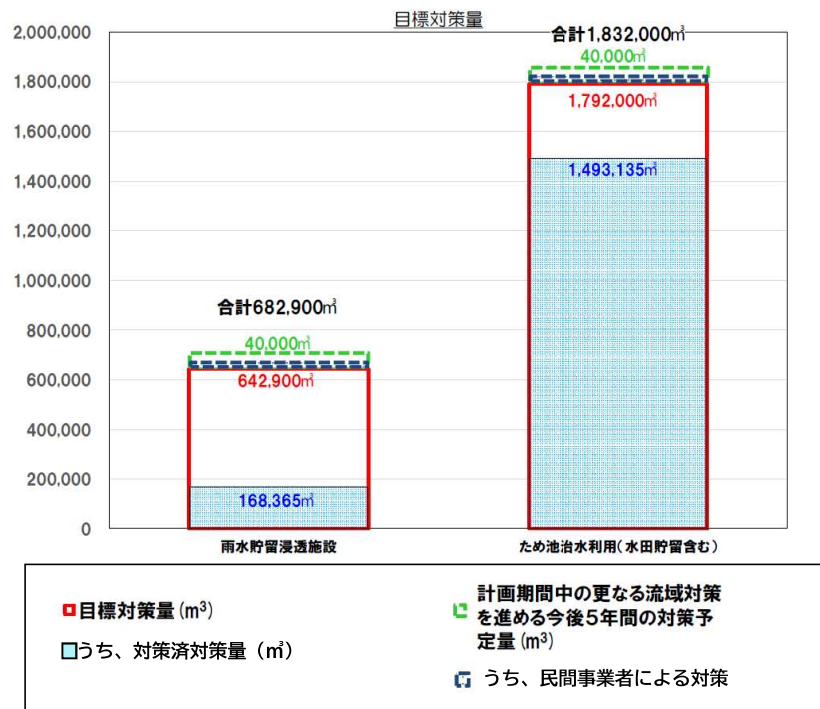
令和5年1月16日  
奈良県

# 1. 流域対策の取組状況

## (1) 大和川流域における流域対策の進捗状況

### 大和川特定都市河川流域における目標対策量

- ◆ 昭和57年の大和川大水害を機に、大和川流域を洪水被害から守るため、県と市町村で流出抑制に取り組むことに合意
- ◆ 目標対策量は、雨水貯留浸透施設で68.29万m<sup>3</sup>、水田貯留を含むため池の治水利用で183.2万m<sup>3</sup>



対策量	雨水貯留浸透施設	ため池治水利用 (水田貯留含む)
①大和川流域総合治水対策の「流域整備計画」で定められた対策量	11.9万m <sup>3</sup>	170万m <sup>3</sup>
②大和川流域総合治水対策の「奈良県平成緊急内水対策事業」で定められた対策量	52.39万m <sup>3</sup>	9.2万m <sup>3</sup>
③計画期間中の更なる流域対策を積極的に進める今後5年間の対策予定量(民間事業者による対策含む)	4.0万m <sup>3</sup>	4.0万m <sup>3</sup>
合計	68.29万m <sup>3</sup>	183.2万m <sup>3</sup>

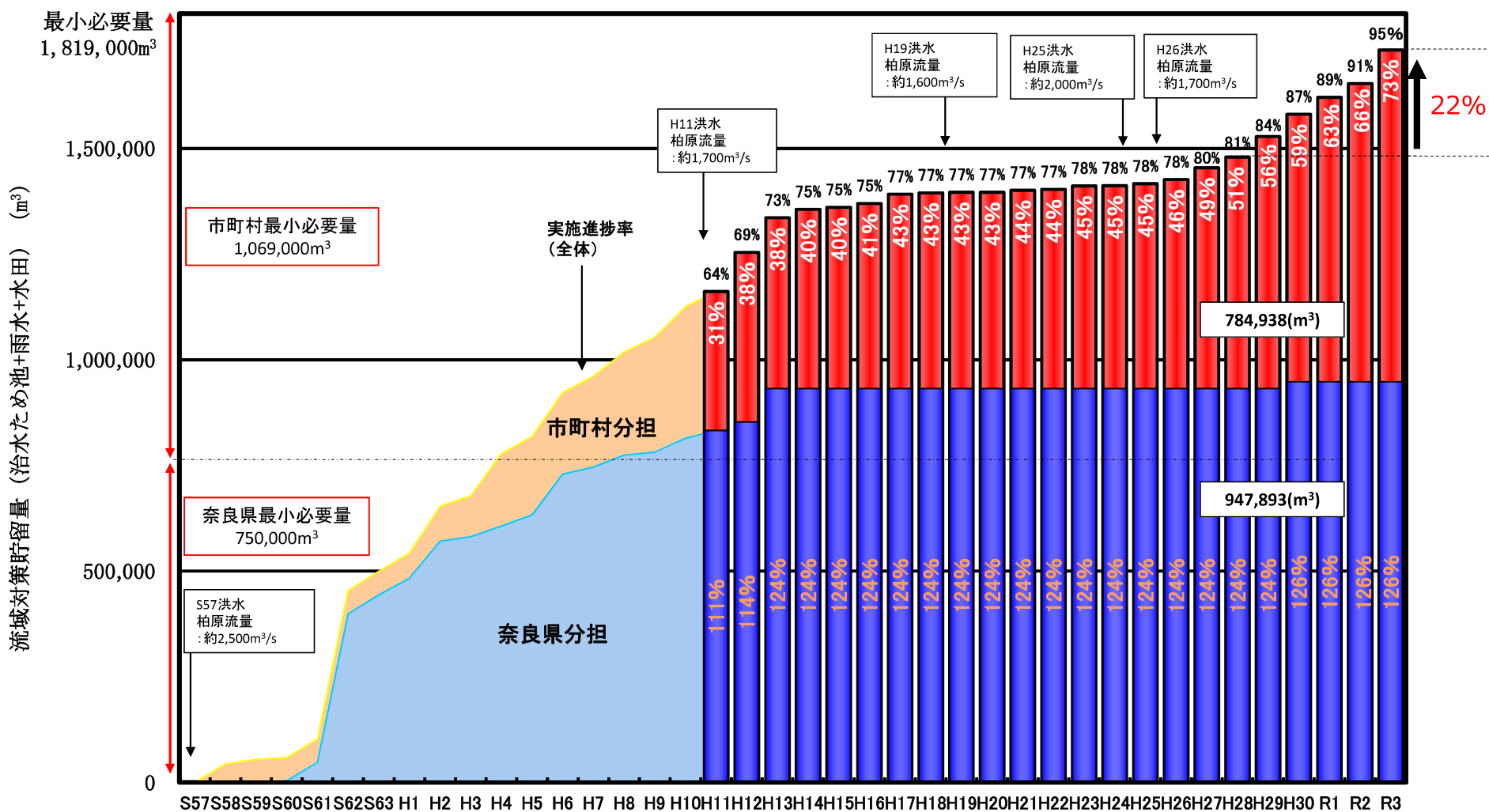
雨水貯留浸透施設の整備及びため池の治水利用による目標対策量  
 (「大和川流域水害対策計画」より抜粋)

# 1. 流域対策の取組状況

## 大和川流域総合治水対策の「流域整備計画」で定められた対策量の進捗状況

- ◆ R4.3現在で、計画目標量の95%の達成状況となっており、県では126%の達成状況となっている。
  - ◆ 市町村では、計画目標量の73%の達成にとどまっているものの、平成28年度以降、進捗率は22%伸びている。
- ※ 水田貯留による対策量を含む

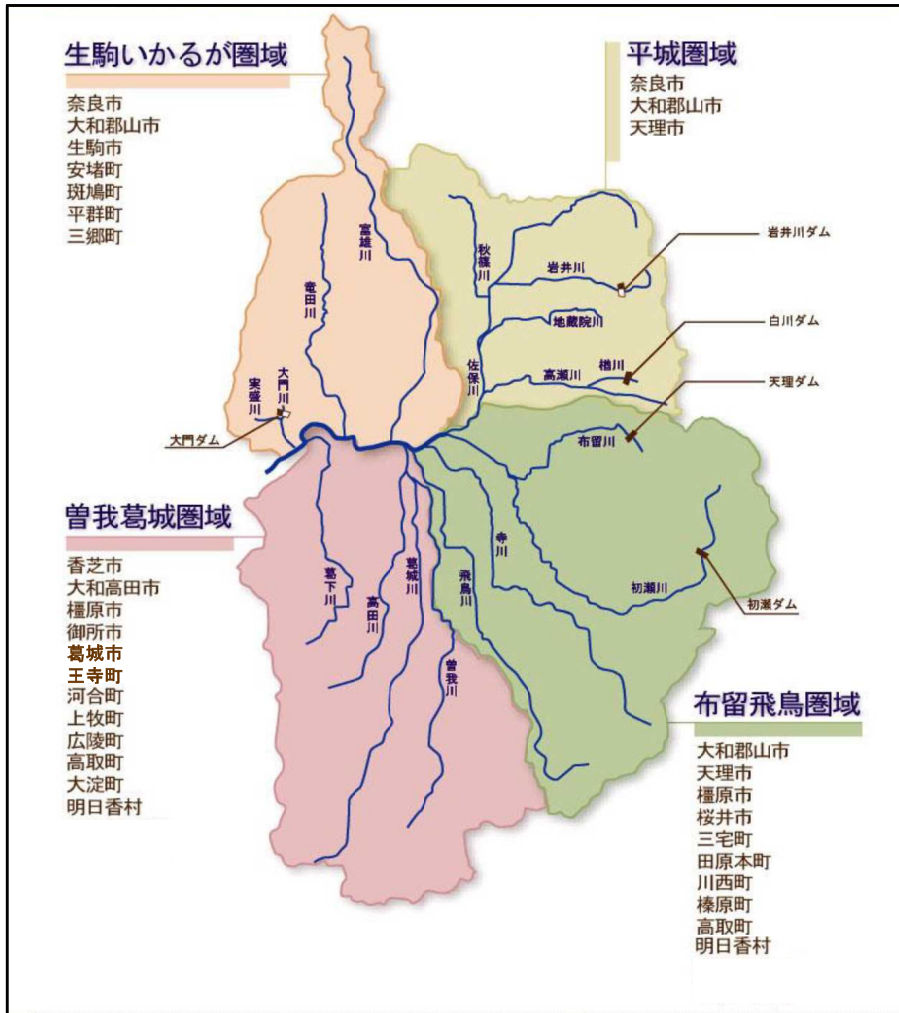
### 流域対策(ため池治水利用+雨水貯留浸透施設+水田貯留)の進捗状況



# 1. 流域対策の取組状況

## 奈良県と市町村の流域対策の目標量(最小必要量)

◆大和川流域総合治水対策の「流域整備計画」で定められた対策量 約180万m<sup>3</sup>の貯留対策に取り組むことになっている。



機関名	雨水貯留浸透施設対策量 (m <sup>3</sup> )	ため池治水利用対策量 (m <sup>3</sup> )	機関名	雨水貯留浸透施設対策量 (m <sup>3</sup> )	ため池治水利用対策量 (m <sup>3</sup> )
奈良市	14,610	310,500	田原本町	2,440	29,700
大和高田市	3,790	18,300	高取町	1,080	18,900
大和郡山市	5,410	71,700	明日香村	540	15,900
天理市	3,520	65,700	新庄町	1,080	22,500
橿原市	6,770	40,200	当麻町	810	17,500
桜井市	5,140	30,300	香芝町	2,710	55,300
御所市	4,060	48,900	上牧町	1,350	21,600
生駒市	5,410	62,700	王寺町	1,350	21,600
平群町	1,350	20,700	広陵町	1,900	32,400
三郷町	1,080	25,800	河合町	1,350	19,500
斑鳩町	1,630	29,700	大淀町	-	1,500
安堵町	540	9,400	小計	69,000	1,000,000
川西町	810	6,700	奈良県	50,000	700,000
三宅町	270	3,000	合計	119,000	1,700,000

合計181.9万m<sup>3</sup>

附則1 今後早急に検討するものについては、成案が出来次第、実施要領の変更により、具体的内容を組み込むものとする。

【大和川流域整備計画実施要領より】

# 1. 流域対策の取組状況

## 直近一年の進捗状況(前回協議会からの進捗率)

- ◆ R3.3からR4.3までの対策済量の進捗率は、市町村全体では約7%となっている。
- ◆ 奈良市、香芝市、葛城市、平群町、安堵町、明日香村、上牧町の対策済量の伸び率は増加した。

※ 水田貯留による対策量を含む

市町村名	【C】 最小必要量 (m3)	ため池＋雨水貯留＋水田 (R3.3)		ため池＋雨水貯留＋水田 (R4.3)		直近一年の増加量 B-A	
		【A】 対策済量	対策率 (%)	【B】 対策済量	対策率 (%)	増加量 (m3)	直近一年の進捗率 (B-A)／C×100 進捗率 (%)
奈良市	325,110	109,079	33.6	110,539	34.0	1,460	0.4
大和高田市	22,090	27,812	125.9	27,812	125.9		
大和郡山市	77,110	60,850	78.9	60,850	78.9		
天理市	69,220	46,575	67.3	46,575	67.3		
橿原市	46,970	54,294	115.6	54,294	115.6		
桜井市	35,440	16,444	46.4	16,444	46.4		
御所市	52,960	29,730	56.1	29,730	56.1		
生駒市	68,110	30,170	44.3	30,170	44.3		
香芝市	58,010	34,783	60.0	38,607	66.6	3,824	6.6
葛城市	41,890	36,677	87.6	50,289	120.1	13,612	32.5
平群町	22,050	17,669	80.1	39,223	177.9	21,554	97.7
三郷町	26,880	46,396	172.6	46,396	172.6		
斑鳩町	31,330	27,689	88.4	27,689	88.4		
安堵町	9,940	2,575	25.9	37,076	373.0	34,501	347.1
川西町	7,510	8,458	112.6	8,458	112.6		
三宅町	3,270	7,520	230.0	7,520	230.0		
田原本町	32,140	40,810	127.0	40,810	127.0		
高取町	19,980	13,956	69.8	13,956	69.9		
明日香村	16,440	15,398	93.7	16,423	99.9	1,025	6.2
上牧町	22,950	7,477	32.6	11,450	49.9	3,973	17.3
王寺町	22,950	24,639	107.4	24,639	107.4		
広陵町	34,300	14,378	41.9	14,378	41.9		
河合町	20,850	25,610	122.8	25,610	122.8		
大淀町	1,500	6,000	400.0	6,000	400.0		
小計	1,069,000	704,989	65.9	784,938	73.4	79,949	7.5
奈良県	750,000	947,893	126.4	947,893	126.4		
合計	1,819,000	1,652,882	90.9	1,732,831	95.3		

凡例

- 対策率:0%以上25%未満
- 対策率:25%以上50%未満
- 対策率:50%以上100%未満
- 対策率:100%以上

# 1. 流域対策の取組状況

## (2) 上下流市町村の流域対策の取組状況(圏域別)

◆流域対策に取り組む市町村は増加しているものの、全体として進捗率は低迷している

◆浸水被害が発生している上流側の市町村で流域対策の進捗が遅れる傾向があり、上下流市町村で進捗率がばらついている

### ①生駒いかるが圏域・②平城圏域

◆大和川沿川や佐保川の中下流域で内水被害が発生しており、上流域での流出抑制が必要。

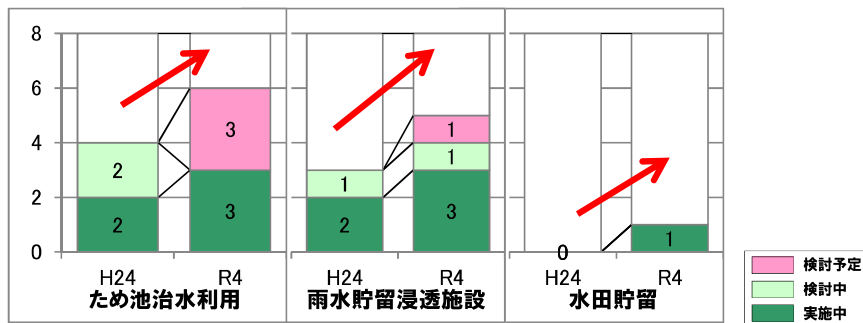
◆「ため池+雨水貯留+水田」の対策量が目標を達成している市町村は、平群町、三郷町、安堵町。

◆ため池治水利用では、奈良市、天理市、生駒市が対策に取り組んでいる。

◆雨水貯留浸透施設では、生駒市、三郷町、斑鳩町が対策に取り組んでいるほか、奈良市が検討中。

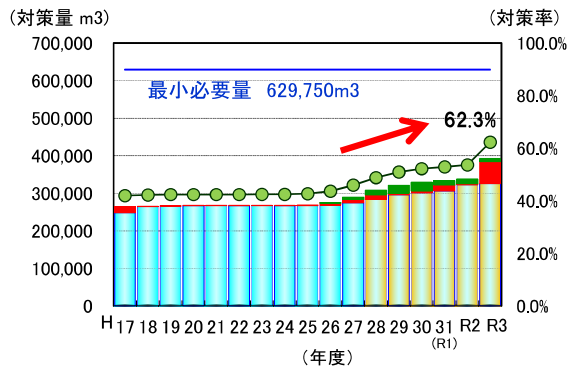
◆水田貯留では、大和郡山市が対策に取り組んでいる。

### 【流域対策に取り組む市町村数の変化】全8市町(うち、目標達成は3市町) 【流域対策の進捗状況】



市町村名	最小必要量 (m3)	①ため池+雨水貯留 (R4.3)		②ため池+雨水貯留+水田 (R4.3)		取組状況 (R4.4現在)		
		対策済量 (m3)	対策率 (%)	対策済量 (m3)	対策率 (%)	ため池治水利用	雨水貯留浸透施設	水田貯留
奈良市	325,110	110,539	34.0	110,539	34.0	実施中	検討中	予定なし
大和郡山市	77,110	53,636	69.6	60,850	78.9	検討予定	検討予定	実施中
天理市	69,220	46,575	67.3	46,575	67.3	実施中	予定なし	予定なし
生駒市	68,110	30,170	44.3	30,170	44.3	実施中	実施中	予定なし
平群町	22,050	39,223	177.9	39,223	177.9	検討予定	予定なし	予定なし
三郷町	26,880	46,396	172.6	46,396	172.6	予定なし	実施中	予定なし
斑鳩町	31,330	21,689	69.2	27,689	88.4	予定なし	実施中	予定なし
安堵町	9,940	37,076	373.0	37,076	373.0	検討予定	予定なし	予定なし
圏域合計	629,750	385,304	61.2	398,518	63.3			

### 【流域対策の推移】



凡例  
■ 対策率:0%以上25%未満  
■ 対策率:25%以上50%未満  
■ 対策率:50%以上100%未満  
■ 対策率:100%以上

**実施中** 工事中または設計中(関係者と概ね合意済み)  
**検討中** 具体的な候補地が決まり、関係者と調整中または近々、調整を行う予定のもの  
**検討予定** 具体的な候補地は決まっていないが、今後、検討を行っていく予定のもの  
**予定なし** 当面、検討の予定がないもの

※対策済量に奈良県の対策量は含まれていない。令和4年3月時点での数値

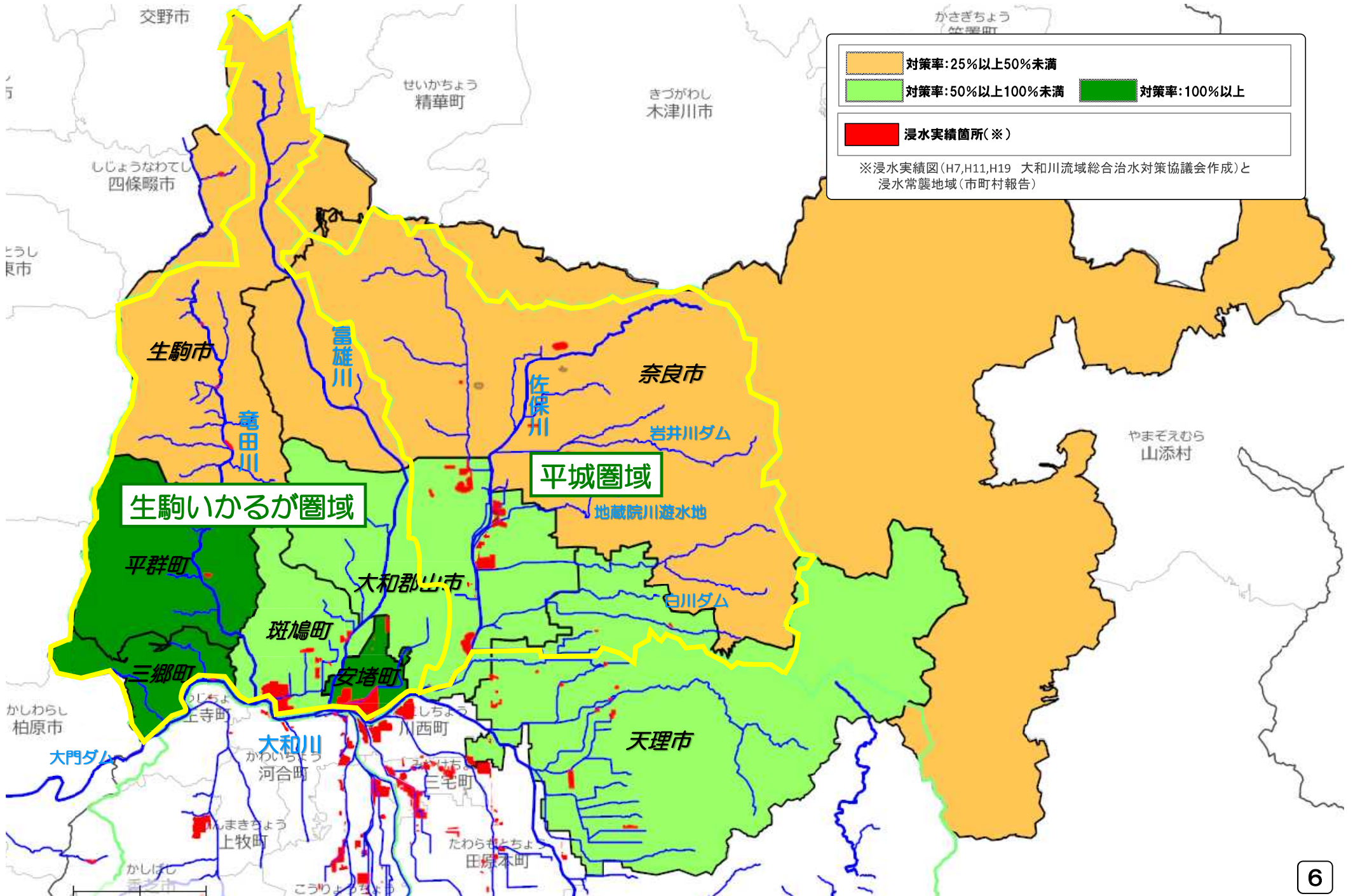
※市町村の進捗は、各圏域に流域を持つ市町村の値を示したもの

※①ため池+雨水貯留は、『ため池治水利用施設』と『雨水貯留浸透施設』の対策済量を合計した数値で、ため池+雨水貯留+水田は、これに水田貯留の貯留量を加算

②水田貯留の貯留量は、「実施面積(m<sup>2</sup>)+湛水深(cm)」で算出した値とする



# 【流域対策の進捗状況と浸水実績（①生駒いかるが圏域・②平城圏域）】

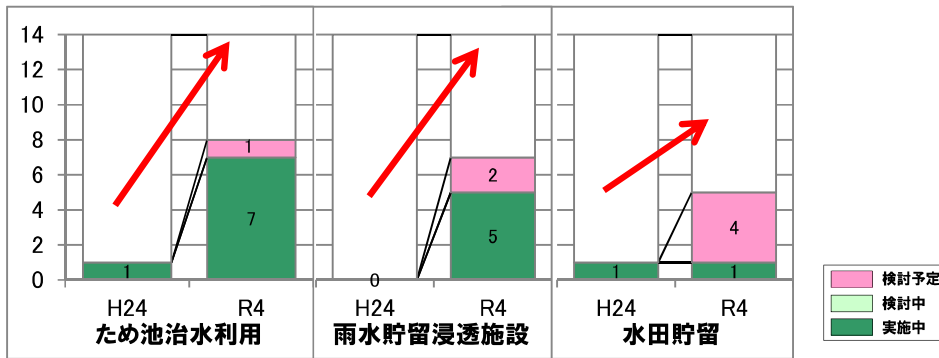


# ③ 曾我葛城圏域

- ◆大和高田市や広陵町、河合町など中下流域を中心に内水被害が発生しており、**上流域で流出抑制が必要**。
- ◆「ため池 + 雨水貯留 + 水田」の対策量が目標を達成している市町村は、**大和高田市、橿原市、葛城市、三宅町、田原本町、王寺町、河合町、大淀町**。
- ◆ため池治水利用では、**御所市、香芝市、葛城市、田原本町、上牧町、広陵町**が対策に取り組んでいる。
- ◆雨水貯留浸透施設では、**大和高田市、御所市、田原本町、王寺町、広陵町**が対策に取り組んでいる。
- ◆水田貯留では、**広陵町**が対策に取り組んでいる。

## 【流域対策に取り組む市町村数の変化】

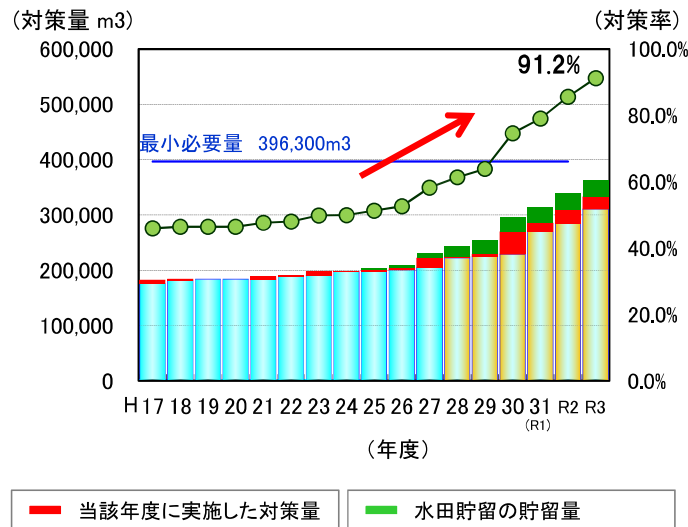
全14市町村(うち、目標達成は8市町)



## 【流域対策の進捗状況】

市町村名	最小必要量 (m3)	①ため池+雨水貯留 (R4.3)		②ため池+雨水貯留+水田 (R4.3)		取組状況 (R4.4現在)		
		対策済量 (m3)	対策率 (%)	対策済量 (m3)	対策率 (%)	ため池治水利用	雨水貯留浸透施設	水田貯留
大和高田市	22,090	27,012	122.3	27,812	125.9	予定なし	実施中	予定なし
橿原市	46,970	50,094	106.7	54,294	115.6	予定なし	予定なし	予定なし
御所市	52,960	29,730	56.1	29,730	56.1	実施中	実施中	予定なし
香芝市	58,010	38,607	66.6	38,607	66.6	実施中	予定なし	予定なし
葛城市	41,890	50,289	120.1	50,289	120.1	実施中	予定なし	予定なし
三宅町	3,270	7,520	230.0	7,520	230.0	検討予定	検討予定	検討予定
田原本町	32,140	24,860	77.3	40,810	127.0	実施中	実施中	検討予定
高取町	19,980	13,956	69.9	13,956	69.9	実施中	予定なし	予定なし
明日香村	16,440	16,423	99.9	16,423	99.9	予定なし	予定なし	予定なし
上牧町	22,950	11,450	49.9	11,450	49.9	実施中	予定なし	検討予定
王寺町	22,950	24,639	107.4	24,639	107.4	予定なし	実施中	予定なし
広陵町	34,300	6,548	19.1	14,378	41.9	実施中	実施中	実施中
河合町	20,850	25,610	122.8	25,610	122.8	予定なし	検討予定	検討予定
大淀町	1,500	6,000	400.0	6,000	400.0	予定なし	予定なし	予定なし
圏域合計	396,300	332,738	84.0	361,518	91.2			

## 【流域対策の推移】



凡例

- 対策率: 0%以上25%未満
- 対策率: 25%以上50%未満
- 対策率: 50%以上100%未満
- 対策率: 100%以上

実施中 工事中または設計中(関係者と概ね合意済み)

検討中 具体的な候補地が決まり、関係者と調整中または近々、調整を行う予定のもの

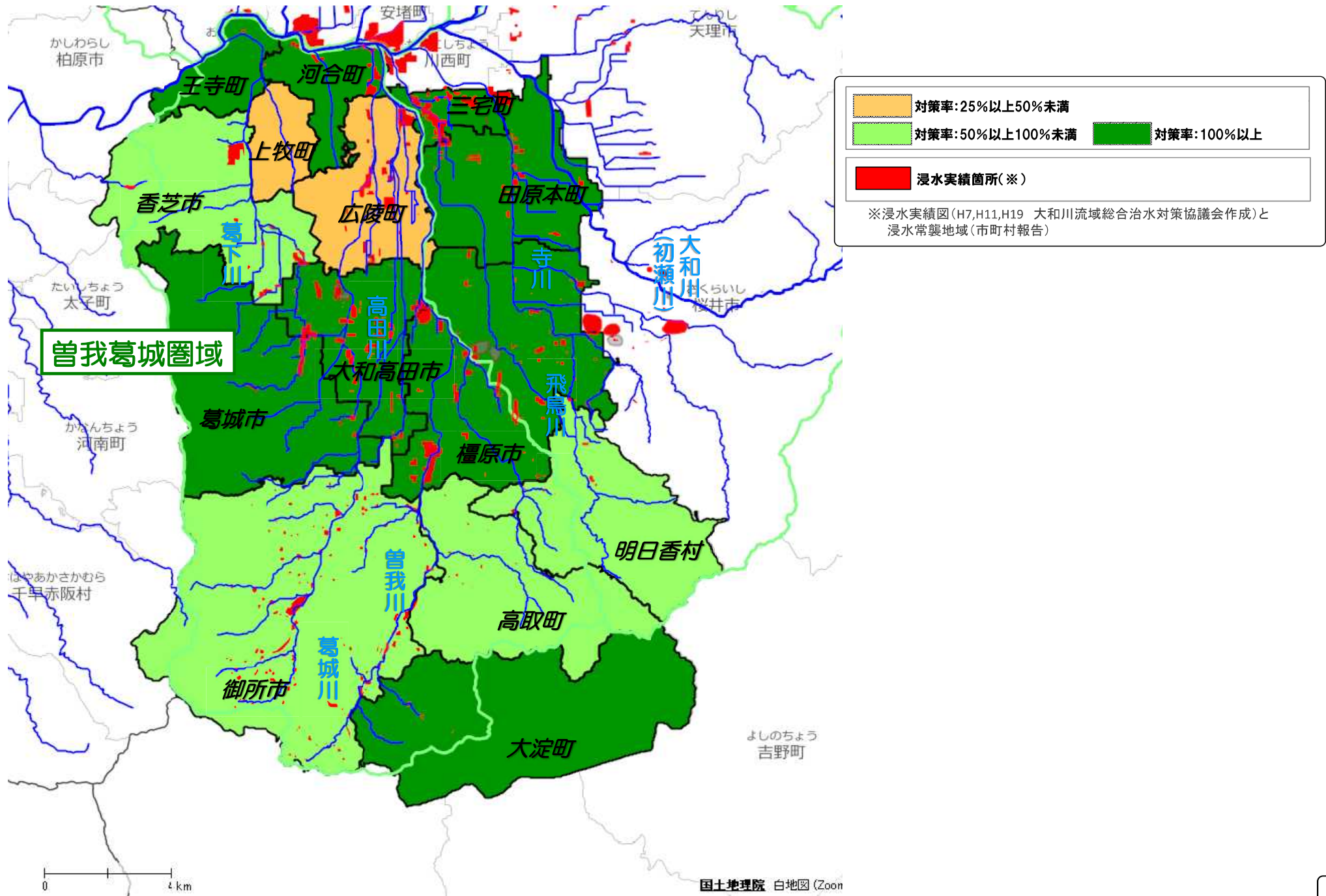
検討予定 具体的な候補地は決まっていないが、今後、検討を行っていく予定のもの

予定なし 当面、検討の予定がないもの

※対策済量に奈良県の対策量は含まれていない。令和4年3月時点での数値  
 ※市町村の進捗は、各圏域に流域を持つ市町村の値を示したもの  
 ※①ため池+雨水貯留は、『ため池治水利用施設』と『雨水貯留浸透施設』の対策済量を合計した数値で、ため池+雨水貯留+水田は、これに水田貯留の貯留量を加算  
 ②水田貯留の貯留量は、「実施面積(m<sup>2</sup>)+湛水深(cm)」で算出した値とする



# 【流域対策の進捗状況と浸水実績 (③曾我葛城圏域)】



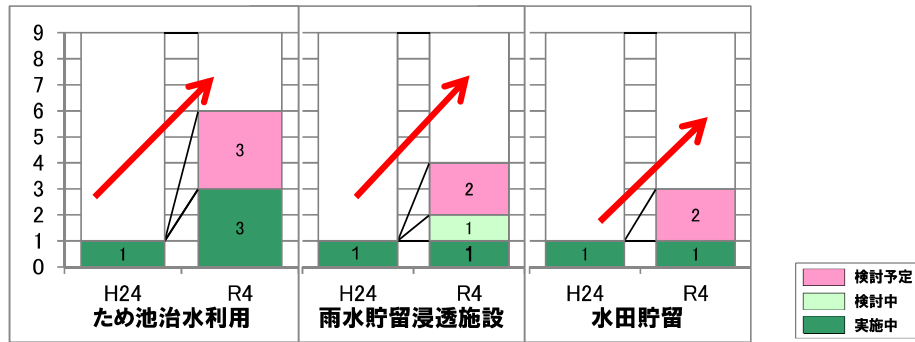
# ④ 布留飛鳥圏域

ふるあすか

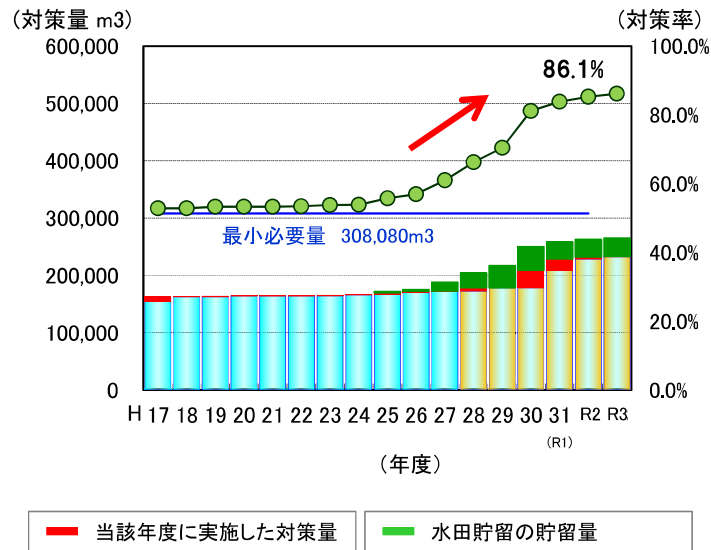
- ◆寺川や飛鳥川沿いの中下流域などで内水被害が発生しており、**上流域で流出抑制が必要**。
- ◆「ため池+雨水貯留+水田」の対策量が目標を達成している市町村は、**橿原市、川西町、三宅町、田原本町**。
- ◆ため池治水利用では、**天理市、田原本町、高取町**が対策に取り組んでいる。
- ◆雨水貯留浸透施設では、**田原本町**が対策に取り組んでいるほか、**桜井市**が検討中。
- ◆水田貯留では、**大和郡山市**が対策に取り組んでいる。

## 【流域対策に取り組む市町村数の変化】

全9市町村(うち、目標達成は4市)



## 【流域対策の推移】



## 【流域対策の進捗状況】

市町村名	最小必要量 (m3)	①ため池+雨水貯留 (R4.3)		②ため池+雨水貯留+水田 (R4.3)		取組状況 (R4.4現在)		
		対策済量 (m3)	対策率 (%)	対策済量 (m3)	対策率 (%)	ため池治水利用	雨水貯留浸透施設	水田貯留
大和郡山市	77,110	53,636	69.6	60,850	78.9	検討予定	検討予定	実施中
天理市	69,220	46,575	67.3	46,575	67.3	実施中	予定なし	予定なし
橿原市	46,970	50,094	106.7	54,294	115.6	予定なし	予定なし	予定なし
桜井市	35,440	11,744	33.1	16,444	46.4	予定なし	検討中	予定なし
川西町	7,510	8,458	112.6	8,458	112.6	検討予定	予定なし	予定なし
三宅町	3,270	7,520	230.0	7,520	230.0	検討予定	検討予定	検討予定
田原本町	32,140	24,860	77.3	40,810	127.0	実施中	実施中	検討予定
高取町	19,980	13,956	69.9	13,956	69.9	実施中	予定なし	予定なし
明日香村	16,440	16,423	99.9	16,423	99.9	予定なし	予定なし	予定なし
圏域合計	308,080	233,266	75.7	265,330	86.1			

凡例

- 対策率: 0%以上25%未満
- 対策率: 25%以上50%未満
- 対策率: 50%以上100%未満
- 対策率: 100%以上

- 実施中** 工事中または設計中(関係者と概ね合意済み)
- 検討中** 具体的な候補地が決まり、関係者と調整中または近々、調整を行う予定のもの
- 検討予定** 具体的な候補地は決まっていないが、今後、検討を行っていく予定のもの
- 予定なし** 当面、検討の予定がないもの

※対策済量に奈良県の対策量は含まれていない。令和4年3月時点での数値

※市町村の進捗は、各圏域に流域を持つ市町村の値を示したもの

※①ため池+雨水貯留は、『ため池治水利用施設』と『雨水貯留浸透施設』の対策済量を合計した数値で、ため池+雨水貯留+水田は、これに水田貯留の貯留量を加算

②水田貯留の貯留量は、「実施面積(m<sup>2</sup>)+湛水深(cm)」で算出した値とする



# 【流域対策の進捗状況と浸水実績 (④布留飛鳥圏域)】

